

“大切な人を想う”のいちばん近くで。



# 平成26年度 業績の概要

平成27年5月28日

日本生命保険相互会社

## 決算のポイント

- 新契約業績は、件数・死亡保障額・年換算保険料のいずれも前年度比減少。  
保有契約は、件数・年換算保険料は前年度末比増加、死亡保障額は減少。
- 保険料等収入は、前年度比＋10.6%増加の5兆3,371億円。
- 基礎利益は、主に利差益の増加を背景に、前年度比＋866億円増加の6,790億円。  
経常利益は、前年度比＋946億円増加の6,072億円。
- 基金・諸準備金等に劣後特約付債務を加えた自己資本は、  
前年度末比＋6,262億円増加の4兆2,061億円。  
ソルベンシー・マージン比率は、前年度末比＋151.8ポイント上昇の930.8%。

# ①保険成績（新契約、解約・失効）

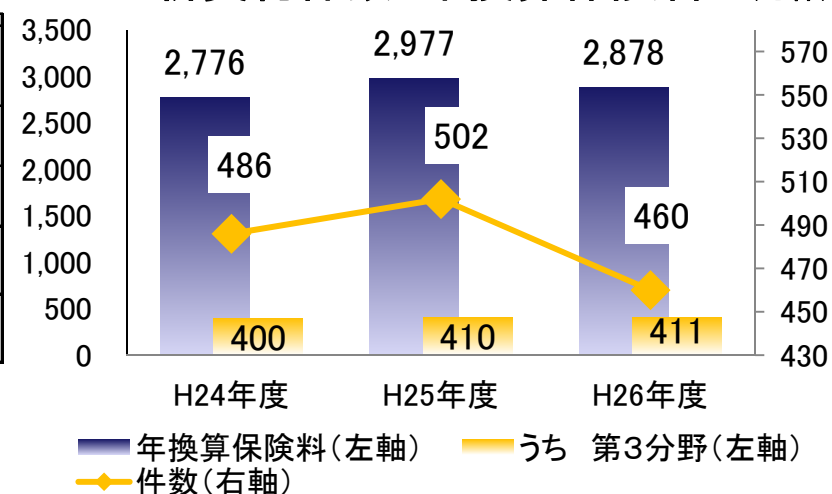
## 個人保険・個人年金保険

### 新契約

(単位: 億円、万件、%)

	平成26年度	前年度比	平成25年度	前年度比
件数	460	▲ 8.3	502	3.2
死亡保障額	91,659	▲ 5.6	97,095	1.6
年換算保険料	2,878	▲ 3.3	2,977	7.3
うち 第3分野 (医療保障・生前給付保障等)	411	0.2	410	2.6

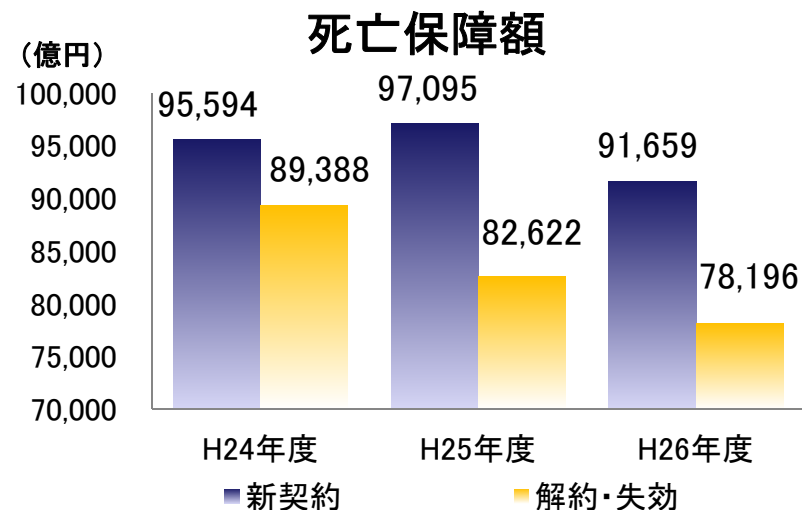
### 新契約件数・年換算保険料 (億円) (万件)



### 解約・失効

(単位: 億円、%)

	平成26年度	前年度比	平成25年度	前年度比
死亡保障額	78,196	△ 5.4	82,622	△ 7.6



# ①保険成績（チャネル別新契約の状況）

## 個人保険・個人年金保険

### 件数

(単位:万件、%)

	平成26年度	前年度比	平成25年度	前年度比
営業職員等チャネル	455	▲ 8.4	497	3.3
窓販チャネル	5	4.9	5	▲ 6.9

### 保障額

(単位:億円、%)

	平成26年度	前年度比	平成25年度	前年度比
営業職員等チャネル	86,970	▲ 6.1	92,602	1.8
窓販チャネル	4,689	4.4	4,493	▲ 2.3

### 年換算保険料

(単位:億円、%)

	平成26年度	前年度比	平成25年度	前年度比
営業職員等チャネル	2,425	▲ 4.8	2,547	9.3
窓販チャネル	453	5.2	430	▲ 3.6

### 営業職員等チャネル

- 昨年度4月の保険料率改定の影響により、件数、死亡保障額・年換算保険料いずれも減少。
- ただし、一時払終身保険「マイステージ」については前年度比増加。

### 窓販チャネル

- 金利は低位で推移しているものの、相続対策としての保険活用の推奨等により、件数、保障額、年換算保険料いずれも増加。

# ①保険成績（保有契約）

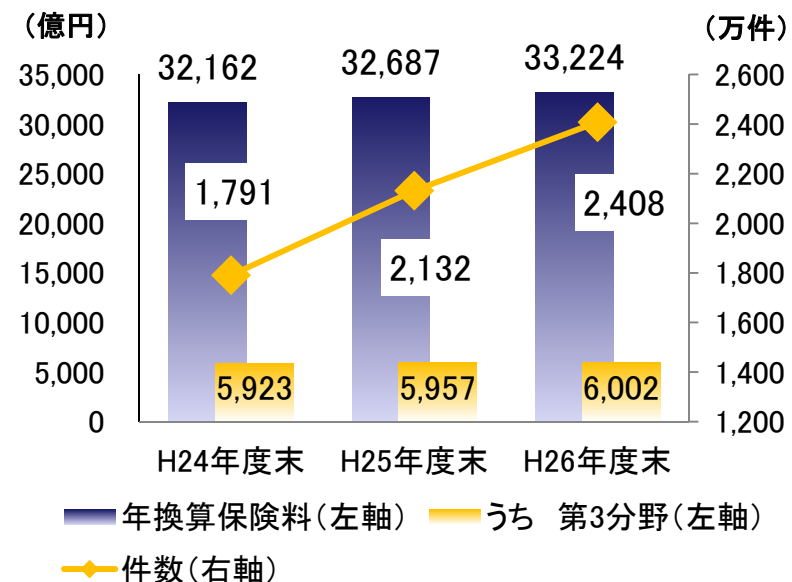
## 個人保険・個人年金保険

### 保有契約

(単位: 億円、万件、%)

	平成26年度末	前年度末比	平成25年度末	前年度末比
件数	2,408	13.0	2,132	19.0
死亡保障額	1,681,055	▲ 2.2	1,718,959	▲ 2.3
年換算保険料	33,224	1.6	32,687	1.6
うち 第3分野 (医療保障・生前給付保障等)	6,002	0.7	5,957	0.6

### 保有契約件数・年換算保険料



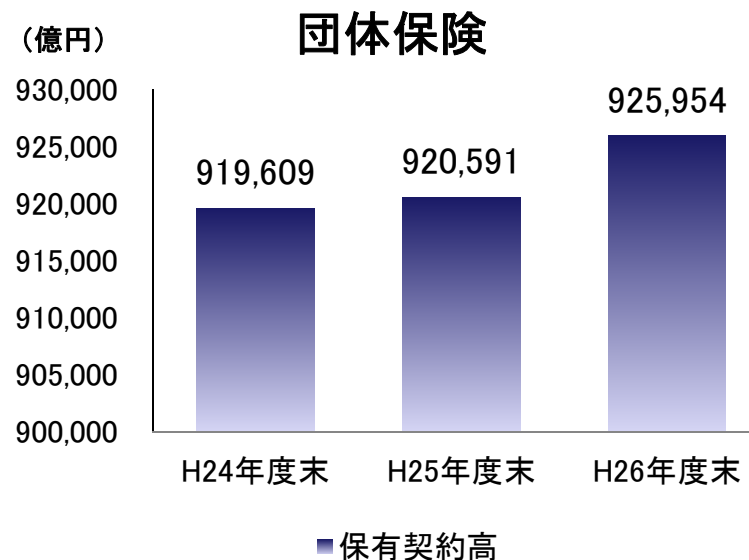
# ①保険成績（企業保険）

## 団体保険・団体年金保険

### 団体保険

(単位: 億円、%)

	平成26年度末	前年度末比	平成25年度末	前年度末比
保有契約高	925,954	0.6	920,591	0.1



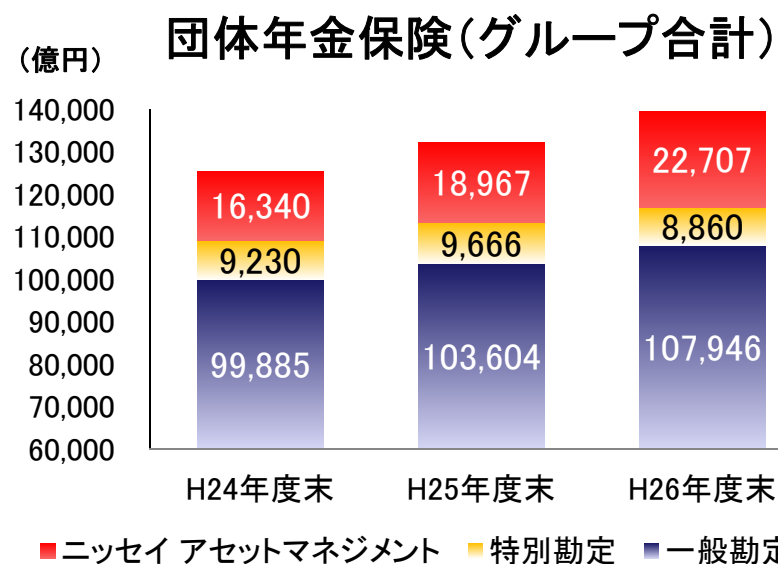
### 団体年金保険

(単位: 億円)

	平成26年度末	前年度末との差異	平成25年度末	前年度末との差異
一般勘定	107,946	4,342	103,604	3,718
特別勘定	8,860	▲ 806	9,666	436
合計	116,806	3,535	113,270	4,155

(ご参考)

ニッセイアセットマネジメント	22,707	3,739	18,967	2,626
グループ合計	139,513	7,275	132,238	6,781



## ②損益計算書等（保険料等収入など）

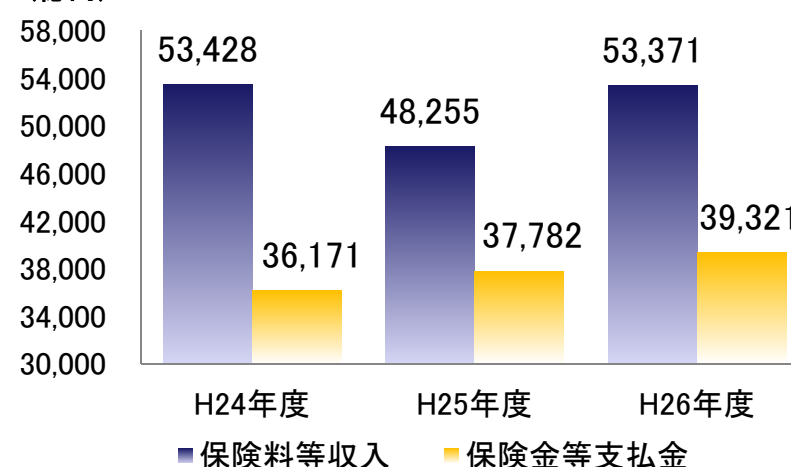
### 保険料等収入・保険金等支払金

(単位:億円、%)

	平成26年度	前年度比	平成25年度	前年度比
保険料等収入	53,371	10.6	48,255	▲ 9.7
うち 個人保険・個人年金保険	35,456	11.8	31,725	▲ 15.8
うち 団体保険・団体年金保険	17,354	8.7	15,960	5.1
保険金等支払金	39,321	4.1	37,782	4.5
うち 個人保険・個人年金保険	24,339	△ 2.5	24,966	3.7
うち 団体保険・団体年金保険	14,429	17.9	12,237	6.4

### 保険料等収入・保険金等支払金

(億円)



### 責任準備金繰入額

(単位:億円、%)

	平成26年度	前年度比	平成25年度	前年度比
責任準備金繰入額	16,858	24.5	13,542	△ 21.0

### 責任準備金繰入額

- 一時払終身保険「マイステージ」の販売が増加したこと等から、前年度比増加。

### 事業費

(単位:億円、%)

	平成26年度	前年度比	平成25年度	前年度比
事業費	5,633	0.3	5,618	△ 0.9

### 事業費

- コスト削減に努めた結果、前年度比横ばい。

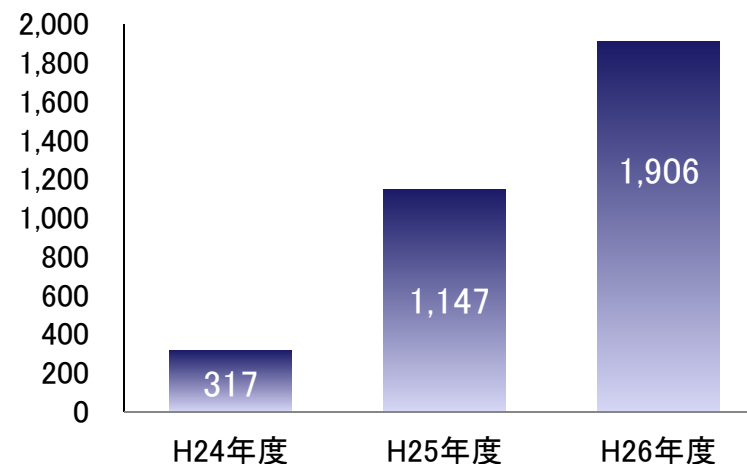
## ②損益計算書等（基礎利益など）

### 基礎利益

（単位：億円）

	平成26年度	前年度との差異	平成25年度	前年度との差異
基礎利益	6,790	866	5,924	459
利差	1,906	758	1,147	830
危険差	4,089	40	4,048	▲ 428
費差	795	67	727	57

### 利差益の推移



○基礎利益の内訳は、保有契約の構成等、当社固有の要素を勘案して独自の方式で算出したもの

### 経常利益等

（単位：億円）

	平成26年度	前年度との差異	平成25年度	前年度との差異
経常利益	6,072	946	5,126	1,238
特別損益	▲ 1,778	▲ 127	▲ 1,651	▲ 233
当期純剰余	3,037	193	2,844	737
社員配当準備金繰入額 <sup>(※)</sup>	2,572	555	2,017	345

※平成26年度の社員配当準備金繰入額は、剰余金処分案の数値

○個人保険・個人年金保険に係る配当については増配を実施する予定



### ③健全性の状況

#### 有価証券の含み損益

(単位:億円)

	平成26年度末	前年度末との差異	平成25年度末
公社債	27,354	8,820	18,534
株式	49,919	21,625	28,293
外国証券	31,537	14,122	17,414
その他	1,521	609	912
時価のある有価証券	110,333	45,178	65,154

#### 有価証券の含み損益

- 有価証券の含み損益については、株価の上昇、円安、金利低下により、前年度末比4兆5,178億円増加。

#### 実質純資産額

(単位:億円)

	平成26年度末	前年度末との差異	平成25年度末
実質純資産額 (実質純資産比率※)	164,477 (26.9%)	49,235	115,241 (20.7%)

※「実質純資産比率」=「実質純資産額」÷「一般勘定資産」

#### 実質純資産額

- 実質純資産額については、有価証券含み益が増加したことから、前年度末比4兆9,235億円増加。

#### ソルベンシー・マージン比率

(単位:億円)

	平成26年度末	前年度末との差異	平成25年度末
ソルベンシー・マージン総額	134,210	39,838	94,371
リスクの合計額	28,836	4,610	24,225
ソルベンシー・マージン比率	930.8 %	151.8ポイント	779.0 %

#### ソルベンシー・マージン比率

- ソルベンシー・マージン比率については、前年度末比151.8ポイント増加。

### ③健全性の状況（自己資本・配当）

#### 自己資本

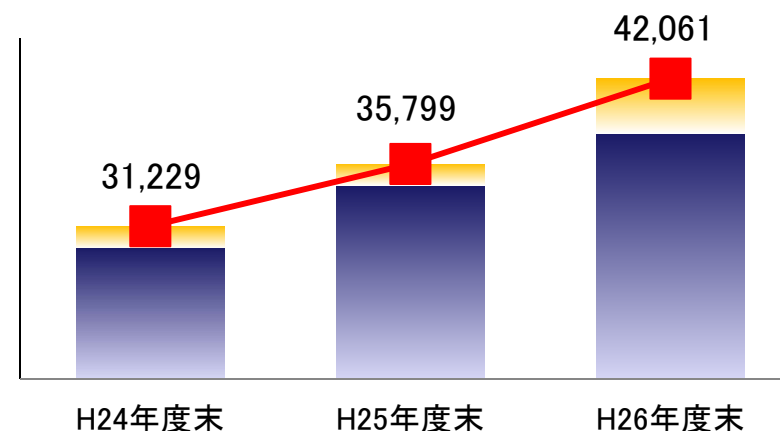
(単位:億円)

	平成26年度末	前年度末との差異	平成25年度末
基金・諸準備金等①	38,065	3,836	34,228
純資産の部(※)	14,913	52	14,861
うち 基金	2,000	▲ 500	2,500
うち 基金償却積立金	11,000	500	10,500
うち 社員配当平衡積立金	500	-	500
負債の部	23,151	3,784	19,367
うち 危険準備金	12,502	2,444	10,057
うち 価格変動準備金	7,787	1,554	6,233
劣後特約付債務②	3,995	2,425	1,570
自己資本(①+②)	42,061	6,262	35,799

(億円)

45,000  
40,000  
35,000  
30,000  
25,000  
20,000

#### 自己資本



劣後特約付債務 基金・諸準備金等 自己資本

※ 「純資産の部」は、貸借対照表上の純資産の部合計から、評価・換算差額等合計を控除した数値(平成26年度末は、剰余金処分案の数値)

#### お客様配当性向

(単位:億円)

	平成26年度	前年度との差異	平成25年度
配当準備金繰入額等	2,572	55	2,517
修正当期純剰余	6,709	▲ 31	6,740
お客様配当性向	38 %	1ポイント	37 %

#### 配当について

- 金利は低位で推移しているものの、収支の改善、「みらい創造プロジェクト」を通じた成果、前年度「社員配当平衡積立金」を設定したこと等により、7年ぶりの増配を実施する予定。

「お客様配当性向」=「配当準備金繰入額等」÷「修正当期純剰余」

「修正当期純剰余」=「当期純剰余」+「危険準備金等の法定繰入額超過分等」

## H27年度決算の見通し

	平成27年度見込み	平成26年度
保険料等収入	減少	5兆3,371億円
基礎利益	約6,500億円	6,790億円

自己資本	約4兆6,000億円	4兆2,061億円
------	------------	-----------

### <保険料等収入>

一時払終身保険が前年度比減少すると見込むこと等から、  
保険料等収入は減少の見通し

### <基礎利益>

低金利の影響等により、基礎利益は約6,500億円

### <自己資本>

今年度4月に、当社として初めて発行した国内劣後債750億円を反映し、  
約4兆6,000億円

## (ご参考) 3カ年経営計画 (2012-2014) 「みらい創造プロジェクト」の振り返り

■「みらい創造プロジェクト」においては、『**成長基調への反転**』を掲げ、「新統合戦略を軸とした販売量増大」、「財務・収支基盤の強化」、「人財の育成」を3本柱に、下記経営目標に向けて取組を前進

目標	達成状況	
<p>お客様数 1,150万名・反転</p>	<p>達成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 2013年度末に1,150万名・反転を達成。</li> <li>➤ 2014年度末は1,157万名。</li> </ul>
<p>保有契約件数 反転</p>	<p>達成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 2012年度の反転、2013年度の純増を達成。</li> <li>➤ 2014年度末も純増を確保。</li> </ul>
<p>新契約 シェアNo.1</p>	<p>2012・2013は 達成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 2012・2013年度は件数・保障額・年換算保険料の全項目で新契約No.1を達成。</li> <li>➤ 2014年度は年換算保険料では未達成。</li> </ul>
<p>基金・諸準備金等 3兆円の回復</p>	<p>達成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 劣後債を含めた自己資本は2014年度末で4兆円を超える。</li> </ul>

**「みらい創造プロジェクト」期間に着実に成果を積み上げ、成長基調への反転を実現**

ニッセイ全員目標

真に最大・最優、信頼度抜群の生命保険会社になる

中長期的な成長基盤の構築と揺るぎない国内No.1プレゼンスの確立

成長戦略

国内保険事業の強化  
(セグメント別戦略の  
ステージアップ)

商品・チャネルを駆使した  
マーケット開拓

・お客様の多様化するニーズにこれまで以上にきめ細かにお応えできる  
態勢の構築

ーお客様の商品やサービスの選び方など、ニーズの多様化も踏まえ、  
最適な「商品×チャネル」を組み合わせ提供

接点を持ちづらいお客様への踏み込んだ対応

グループ事業の  
強化

・海外保険事業、アセットマネジメント事業、国内生保マーケット深耕に  
資する事業を中心としたグループ全体での収益向上

経営基盤構築

顧客基盤強化

・マーケット特性等に応じたお客様対応態勢の整備・充実

財務基盤強化

・長期保障責任を全うしうる自己資本の積立  
・長期安定運用による着実な収益向上  
・ERM (エンタープライズ・リスク・マネジメント) 推進

人財育成

人財価値向上プロジェクト

・全社一丸となった「人財育成」「組織・風土作り」「環境整備」を進め  
職員一人ひとりの能力を向上

“大切な人を想う”のいちばん近くで。



日本生命